

平成21年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	平成21年11月20日(金) 14:13~17:33
場 所	管理棟3階 大会議室
構 成 員	28名 出席者20名 欠席者 8名
1号委員(病院長)(議長)	須加原 一博
2号委員(地域がん診療連携拠点病院長)	諸喜田 林 平安山 英盛 與議 實津夫
3号委員(沖縄県医師会長)	宮城 信雄 代理 玉城 信光
4号委員(沖縄県薬剤師会長)	神村 武之
5号委員(沖縄県看護協会会長)	奥平 登美子(欠席)
6号委員(沖縄県政策参与)	玉城 信光
7号委員(沖縄県福祉保健部長)	奥村 啓子 代理 宮里 達也
8号委員(がんセンター長)	増田 昌人
9号委員(医療福祉支援センター長)	村山 貞之
10号委員(薬剤部長)	宇野 司
11号委員(看護部長)	川満 幸子
12号委員(事務部長)	平良 勉
13号委員(各拠点病院より2名)	照屋 淳(北部地区医師会病院外科部長) 柴山 順子(北部地区医師会病院副院長) 玉城 和光(県立中部病院心療内科部長) 上田 真(県立中部病院外科副部長)(欠席) 久高 学(那覇市立病院外科部長)(欠席)(退職) 宮里 浩(那覇市立病院外科部長)(欠席)
14号委員(患者の立場の方)	上地 政春(欠席)
15号委員(患者の家族の立場の方)	山田 良子(欠席)
16号委員(患者の遺族の立場の方)	崎山 律子(欠席)
17号委員(有識者)	埴岡 健一(特定非営利活動法人日本医療政策機構理事) 山城 紀子(ジャーナリスト)(欠席) 天野 慎介(特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長)
18号委員(琉大病院長が必要と認める者)	砂川 元(琉大病院歯科口腔外科長)代理 仲宗根敏幸 加藤 誠也(琉大病院病理部長)
部会説明者	緩和ケア部会長 地域ネットワーク部会 普及啓発部会 がん登録部会長 研修部会 相談支援部会長
	笹良 剛史 仲本 奈々 仲宗根民男 賀数 保明 増田 昌人 樋口美智子

報告説明事項

1. 平成21年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会について

増田委員から、11月2日に開催された幹事会について、資料2に基づき説明があり、本協議会報告事項及び審議事項等が話われたとの説明があった。

2. 沖縄県がん診療連携協議会・部会委員一覧

増田委員から、資料3に基づき説明があった。今回、幹事会委員の久高 学委員から友利寛文委員へ変更があった。

3. 感謝状の授与

議長から、本協議会への貢献に対して、株式会社宮平乳業の宮平隆雄代表取締役社長へ感謝状の贈呈があった。

4. 第47回日本癌治療学会学術集会について

埴岡委員から、資料4-1に基づき説明があり、47都道府県の平成21年度のがん対策予算の現況について、島根県の例を挙げて、各予算の配分等の説明があった。

続いて、天野委員から、日本癌治療学会学術集会の開催状況について、資料4-2に基づき説明があった。

5. 「沖縄県がん対策アクションプラン」について

宮里委員から、資料（沖縄県がん対策推進計画アクションプラン（案））に基づいて、がん診療の実施状況の把握、情報提供、がん診療医療機関の充実・強化、医療従事者等の研修の充実、患者サロン等の設置支援等について説明があった。

なお、増田委員から、アクションプランの自己評価を実施してほしい旨の意見があった。

また、宇野委員から、医療費の支援等について要望があった。

更に、がん条例の制定について、各委員から制定に向けての意見があった。

審議事項

1. 第1号議案「うちなーがん募金」について

増田委員から、資料6に基づき次のとおり説明があり、審議の結果、引き続き次回に審議することになった。

○沖縄県経営者協会及び那覇商工会議所等から意見を伺っている。概ね了解をいただいているが、募金事務局の選定について難航しており、引き続き、各関係機関との調整が必要である。

2. 第2号議案「5大がん地域連携クリティカルパス」について

増田委員から、資料7に基づき次の事項について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、地域ネットワーク部会が担当する旨説明があった。

○5大がん地域連携クリティカルパス作成のこれまでの経過

○「沖縄県におけるがん診療連携に関するアンケート」について

○地域連携クリティカルパス運用のためのスケジュール案

○地域連携クリティカルパス研修会の企画開催について

研修会の予定は次のとおり。

1月26日（木）	南部地区	場所：沖縄県医師会館
1月27日（木）	中部地区	場所：中部地区医師会館
1月28日（木）	北部地区	場所：北部看護学校
1月29日（木）	南部地区	場所：沖縄県医師会館
1月30日（木）	中部地区	場所：中部地区医師会館
1月31日（木）	北部地区	場所：北部看護学校
2月1日（木）	離島	場所：宮古島市
2月2日（木）	離島	場所：石垣市
2月3日（木）	離島	場所：宮古島市
2月4日（木）	離島	場所：石垣市

3. 第3号議案「タウンミーティング」について

増田委員から、資料8に基づき次のとおり開催予定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、第1回の開催状況の説明があった。

なお、今後、タウンミーティングでの意見等について、取りまとめ、県への提言等への取組については、引き続き、ワーキンググループ等を設置し、検討することになった。

○開催日時：平成21年11月21日（土）13:00-16:00

場 所：JAおきなわ宜野湾支店総合結婚式場「ジュビランス」2階会議室

主 催：沖縄県がん診療連携協議会

目 的：沖縄県のがんに対する政策について、患者や一般市民、医療関係者、行政担当者、議員等が一堂に会して話し合い、沖縄県におけるがん対策の向上を目指す。

参加者：患者や一般市民、医療関係者、行政担当者、議員ら

4. 来年度協議会の開催日程・時間について

増田委員から、平成22年度の協議会・幹事会の開催日程について次のとおり提案があり、各委員に引き続き、都合を検討願うことになった。

「協議会開催日程（予定）」

- 第1回開催予定：平成22年 6月11日（金）14:00～17:00
- 第2回開催予定：平成22年 9月 3日（金）14:00～17:00
- 第3回開催予定：平成22年11月19日（金）14:00～17:00
- 第4回開催予定：平成23年 2月 4日（金）14:00～17:00

「幹事会開催日程（予定）」

- 第1回開催予定：平成22年 5月17日（月）15:00～17:00
- 第2回開催予定：平成22年 8月16日（月）15:00～17:00
- 第3回開催予定：平成22年10月25日（月）15:00～17:00
- 第4回開催予定：平成23年 1月17日（月）15:00～17:00

5. その他、がん告知の際の医師以外の立ち会い者について

増田委員から、午前中に行われた「がん患者ゆんたく会」でがん告知の際の医師以外の立ち会い者について、各病院の対応状況を伺いたいとの質問があった旨説明があった。

各病院の対応としては、一応、医師のみの告知は避ける方針としているが、実際の業務の中のデータはない状況であるとのことであった。

報告事項

1. 緩和ケア部会報告

笹良部会長から、資料9に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

【育成】

1. 3年以内に宮古医療圏内（宮古島市）及び八重山医療圏内（石垣市）でそれぞれ1回ずつの研修

会を行う。

状況：宮古病院で平成22年2月に緩和ケア研修会を予定している。八重山では同年5月に緩和ケア研修会を実施予定である。

2. 緩和ケア研修会指導者の育成

（1）各拠点病院において、次年度内に日本緩和医療学会および日本サイコオンコロジー学会が行っている緩和ケアおよび精神腫瘍学指導者研修会、もしくは国立がんセンター主催緩和ケアおよび精神腫瘍学の都道府県基本教育のための指導者研修会の受講修了者を精神部門1人、身体部門2人、それぞれ配置する。

状況：

病院名	身体部門	精神部門
北部地区医師会病院	1名（友利 健彦）	0
沖縄県立中部病院	2名（上田 真、三浦 耕子 （11月予定）	1名（親富祖勝巳） 0
那覇市立病院	1名（友利 寛文）	0
琉大病院	3名（比嘉 達也、中村 清哉、 増田 昌人）	5名（薬師 崇、高良 聖治 比嘉あゆみ、外間 宏人 久場 禎三）

(2) 国立がんセンター、日本緩和医療学会および日本サイコオンコロジー学会が行っている緩和ケアおよび精神腫瘍学指導者研修会において、沖縄県より毎回1人以上は必ず参加する。緩和ケア専門医療従事者を育てるため、引き続き努力する。

状況：未実施

【普及】

1. 年4回緩和ケア研修会の企画、実施を行う。
北部地区医師会病院 第一回 2009年 9月13日(日)、27日(日)
琉大病院 第二回 2009年11月14日(土)、15日(日)
那覇市立病院 第三回 2009年12月19日(土)、20日(日)
県立中部病院 第四回 2010年1月30日(土)、31日(日)
2. 緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及を図る。
状況：未実施
3. 2次医療圏(地域)ごとに緩和ケア協議会を設置する。
状況：未実施

【強化】

1. ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。
状況：緩和ケアに関する意識調査と現状調査の一般向け、医師向けアンケートを作成中。
アドベンチスト・メディカルセンター、オリブ山病院、国立病院機構沖縄病院で使用している「診療情報提供書」の統一版様式を作成中。
2. がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームを作る。
状況：未実施
3. 拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所(開業医)との合同カンファランスを定期開催する。
状況：未実施

【広報】

1. 拠点病院、およびそれ以外の病院において緩和ケア外来の普及を行う。
状況：3月開催予定のリレー・フォー・ライフに参加予定
男女共同参画センター主催「ているるフェスタ2009」に参加し、緩和ケア関連の冊子を配布した。
「ホスピス緩和ケア週間」にて、パネル展示、「カラーセラピー講習会」、ミニコンサートを開催した。

2. 地域ネットワーク部会報告

仲本部会事務担当から資料10に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 乳がん地域連携クリティカルパスの作成
1-1乳がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。
1-2乳がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。
1-3乳がん地域連携クリティカルパス(案)を作成する。
状況：平成20年9月にワーキンググループを設置。乳がん地域連携クリティカルパス作成開始、平成21年8月31日に乳がん地域連携クリティカルパス(案)が完成した。
2. 胃がん地域連携クリティカルパスの作成
1-1胃がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。
1-2胃がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。
1-3胃がん地域連携クリティカルパス(案)を作成する。

状況：平成20年9月にワーキンググループを設置。胃がん地域連携クリティカルパス作成開始、平成21年8月31日に胃がん地域連携クリティカルパス（案）が完成した。

3. 肺がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1肺がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2肺がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3肺がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：平成20年9月にワーキンググループを設置。肺がん地域連携クリティカルパス作成開始、平成21年8月31日に肺がん地域連携クリティカルパス（案）が完成した。

4. 肝がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1肝がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2肝がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3肝がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：平成20年9月にワーキンググループを設置。肝がん地域連携クリティカルパス作成開始、平成21年8月31日に肝がん地域連携クリティカルパス（案）が完成した。

5. 大腸がん地域連携クリティカルパスの作成

1-1大腸がんの院内クリティカルパスの作成ないし改訂を行い、確実に運用開始する。

1-2大腸がん地域連携クリティカルパス作成のワーキンググループを設置する。

1-3大腸がん地域連携クリティカルパス（案）を作成する。

状況：平成20年9月にワーキンググループを設置。大腸がん地域連携クリティカルパス作成開始、平成21年8月31日に大腸がん地域連携クリティカルパス（案）が完成した。

6. がん診療の地域連携に関するバックグラウンドを把握する。

①沖縄県下の医療機関を対象に、がんにおける病診連携に関するアンケートを行い、がん診療の地域連携に関するバックグラウンドを調査する。

状況：沖縄県下の医療機関（診療所620施設、病院55施設）にアンケートを実施した。

現在、アンケートを集計中。アンケート結果を基にがん診療連携体制を構築する予定。

②沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、病院別、臓器別の症例数を調査する。病院においては、すでに調査を行ったが、診療所でがんの手術を行っている施設の病院別、臓器別の症例数を調査する。

状況：沖縄県の病院機能調査の結果をもとに、5大がんの標準的ながん診療を行っている診療所を調査した。更に、詳細な放射線治療実施状況や化学療法実施状況の把握のため、FAXアンケートを行った。

7. 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

状況：平成21年6月12日の日本マネジメント学会学術会議で報告した。

8. 宮古医療圏、八重山医療圏及び北部医療圏のがん医療の再考

状況：未実施

9. 在宅がん医療の普及

状況：未実施

10. 病理診断ネットワークの構築（離島、本島、拠点病院間）

状況：未実施

3. 普及啓発部会報告

仲宗根部会委員から、資料11に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. テーマを絞り一般向け講演会を開催する。（子宮頸がんを中心）

状況：平成21年5月10日に普及啓発部会主催「受けていますか？子宮がん検診」と題し、講演会を3会場同時日程で開催した。参加者計100名

7月13日（月）沖縄県立看護大学で1年生を対象に「子宮がんについての講演会」を行った。参加者90名

7月27日（月）おもと会沖縄看護専門学校で1・2年生を対象に「子宮がんについて

の講演会」を行った。参加者181名

2. 講演会を録画したものを、ライブラリー化し（4病院内のみ）視聴可能にする。
状況：上記講演会をデータ保存した。琉大病院、北部地区医師会病院では視聴可能となっている。
3. 各拠点病院にてがん種毎の担当医一覧を作成し、ホームページに掲載する。
状況：各拠点病院ホームページに掲載済
4. 情報提供の地域格差をなくす
状況：宮平乳業の製品に「がん検診」の無料広告を掲載している。
9月26日（土）の「ているるフェスタ2009」でワークショップを行った。
11月3日（火）沖縄県との共催で「女性の健康講座～あなたのため、あなたの大切な人のために～」と題し、宮古支庁講堂にて健康講座を開催予定。2月にも石垣島で講演会開催予定
5. 養護教員向けに子宮がんについて講習会を行う。
状況：沖縄県教育庁保健体育課と調整、協議中。
6. 日本対がん協会とタイアップしてリレーフォーライフを行う。
状況：来年開催予定のリレーフォーライフにて広報活動を行えるよう準備中
7. がん関連のDVD、および講演会録画データを視聴可能な場所、及び機器を設置する。
状況：琉大病院、北部地区医師会病院では視聴可能となっている。那覇市立病院、中部病院は検討中
8. がん検診キャンペーンを具体化する。
状況：今年度は子宮頸がんについて、広報活動を行っている。来年度は大腸がんについて広報活動を行う予定であり、準備中
9. インターネットが利用できない人の為に、その他の情報提供手段を考える。
状況：未実施
10. 協議会ホームページの内容の充実を図る。
状況：一般の人が利用し易いよう、検討中
11. 沖縄県生活習慣病検診管理協議会、アクションプラン推進協議会、沖縄禁煙協議会と相互に情報提供および交換を行う。
状況：未実施

4. がん登録部会報告

賀数部会長から、資料12に基づき今年度事業計画解説および進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 院内がん登録と地域がん登録とのすり合わせとその活用を行う。
 - ①沖縄県に国立がんセンターが推奨する「地域がん標準データベース」を導入する。
状況：平成21年3月19日に、沖縄県がん診療連携協議会議長から沖縄県知事宛に地域がん登録標準データベースの導入に関する要望書を提出した。
平成21年7月に補正予算が認められ、導入に向けて作業中。これにより、沖縄県において、院内がん登録様式と地域がん登録様式の統一様式が完成予定
 - ②拠点病院以外で、「HosCanR」を使用し院内がん登録を行っている9施設において「HosCanR」の「地域がん登録用として印刷用届出票を出力」を利用し、地域がん登録への届け出を行うよう働きかける。また、「HosCanR」以外を利用している施設でも、同様に届け出が出来るようにカスタマイズを行うよう働きかける。
状況：未実施
2. 拠点病院以外への院内がん登録の普及を図る。
状況：平成20年度は、沖縄第一病院へ院内がん登録開始への初期指導を行った。今年度は5施設へ初期指導を行う予定である。現在、県立北部病院への導入について調整中
3. 沖縄県の地域がん登録および拠点病院の院内がん登録の強化を図る。
状況：国立がんセンター主催の地域および院内がん登録研修会へ参加する。

- 初級者研修修了者（４人）、中級者研修修了者（１名）、指導者研修修了者（１名）、初級者研修研修中（１名）、中級者研修研修中（０名）、指導者研修研修中（１名）
4. 院内がん登録研修会を企画開催する（研修部会との共同作業）。
- ①がん種毎に〈シリーズ化〉年に４回を目標に「院内がん登録研修会」を企画開催する。
状況：今年度は、８月１５日（土）、１０月１７日（土）に開催した。１月１６日（土）、３月２０日（土）にも開催予定である。
３月の研修会では国立がんセンターがん登録室長の西本 寛先生を講師に迎える予定
- ②これから院内がん登録を開始する医療機関向けに初期導入研修会を企画開催する。
状況：今年度は５施設で初期指導を行う予定であり、院内がん登録導入のためのチラシを作成し配布中である。
5. 沖縄県の地域および院内がん登録対象医療機関の見直しを行う。
状況：沖縄県保健医療計画をもとに、地域及び院内がん登録対象医療機関の見直しを行った。
対象機関は２７１施設のうち、特に専門的ながん診療を実施している２３施設について、優先的にがん登録の普及に努める。
6. 登録漏れを防ぐため、登録すべき腫瘍候補の見つけ出しを強化する。
状況：未実施
7. ４拠点病院でがん登録統計の統一様式を作成する。
状況：国立がんセンターの意見では、年内に出る拠点病院院内がん登録の全国調査の報告を待ってから、その様式に統一するのが、全国と比較するのもいいということで、沖縄県独自の追加集計項目は全国フォーマットを元に追加する。
8. 院内がん登録と地域がん登録の定期開示を行う。
- ①院内がん登録の集計結果を各拠点病院のホームページ等に公開する。
- ②沖縄県と４拠点病院の集計結果を「沖縄県がん診療連携協議会・がん登録部会」のホームページに公開する。
- ③沖縄県の「沖縄県地域がん登録事業報告書」に加えて、拠点病院の集計結果をまとめ、「沖縄県院内がん登録報告書」を作成し、それぞれを医療機関や市町村に配布する。
状況：年内に出る拠点病院院内がん登録の全国調査の報告を待ってから、公開する。
9. がん登録部会の活動を学会等で報告する。
状況：第４１回沖縄県公衆衛生学会・大会（平成２１年１１月１３日（金））で発表予定
発表者 仲本奈々（琉大病院）、南 文乃（琉大病院）
10. 施設の登録患者の生存率を計測する。
状況：未実施

5. 研修部会報告

増田委員から、資料１３に基づき今年度事業計画について、進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 医師向けの早期診断のための研修会をシリーズ化し、年４回開催する。
状況：平成２１年７月２５日（土）に沖縄県医師会館で「肝臓がんに関する早期診断のための研修会」と題した研修会を開催した。９月２４日（木）には、沖縄県医師会館で「乳がんに関する早期診断のための研修会」を開催した。
今後は、大腸がん（１２月３日（木））、胃がん（１月２１日（木））開催予定
2. 地域ネットワーク部会と連携して、院内および地域クリティカルパス研修会を開催する。
状況：クリティカルパス研修会は、地域ネットワーク部会へ業務を移行予定である。
3. 年４回開催される沖縄県緩和ケア研修会（厚生労働省通知「緩和ケア研修会の開催指針について」に基づく）において看護師、薬剤師の参加を促し、最後の１コマに対象者別コースを設け、それぞれの職種において専門的な知識を習得できるようにするとともに、今後の研修会における指導者、ファシリテーターを育成する。
状況：平成２１年９月１３日、２７日に北部地区医師会病院主催で開催される「沖縄県緩和ケア研修会２００９」のプログラム後に、看護師・薬剤師に分かれてそれぞれの分野での研修を実施した。今後は、琉大病院（１１月１４、１５日）、那覇市立病院（１２月

- 19日、20日)、沖縄県立中部病院(1月30日、31日)にて実施予定。
4. がん看護研修会を初級・中級・上級者向けに年4回開催する。
状況：月1～2回、各級毎の研修会を数ヶ月に渡って実施し、初級から上級へと昇級させるシステムを作る。また、11月と1月に県外のがん認定看護師を講師に招き、短期2日間研修を実施する。修了者には、独自のがん看護認定資格を与えることを検討中。
 5. 認定薬剤師制度の活用、緩和薬学会での単位取得を視野に入れた薬剤師向けの研修会を企画・実施する。
状況：薬剤師向けの研修会で、沖縄独自の病院薬剤師認定単位、緩和薬物療法認定薬剤師単位について検討中
 6. 協議会主催で協議会メンバーによる総論的な講演会を年4回企画・実施する。
状況：未実施
 7. 相談支援部会と連携して、医療ソーシャルワーカー向けの研修会を開催する。
状況：平成21年4月8日(水)(ちゅうざん病院)、5月13日(水)(ちばなクリニック)、6月10日(水)(とよみの杜)、7月8日(水)(とよみの杜)、8月19日(水)(沖縄大学)、10月24日(土)(那覇市立病院)にがん相談支援員実務者研修会を実施済。
 8. がん登録部会と連携して、診療情報管理士向けの研修会を開催する。
状況：院内がん登録研修会を、8月15日(土)、10月17日(土)、1月16日(土)、3月20日(土)に開催した。第1回の8月15日は初級者向けコーディングをメインに開催した。10月17日の研修会は、11月14日(土)へ変更となった。
 9. 研修会の人材バンク(講演者リスト)を作成する。
状況：各病院へ依頼文書を発送済
 10. 県内病院・施設がそれぞれ主催で行っている研修会(院内も含む)リストを作成する。
状況：各病院へ依頼文書を発送済
 11. 地域がん診療連携拠点病院等のコ・メディカルスタッフを対象とした研修会を開催する。
状況：診療放射線技師を対象とした研修会を9月29日(火)に琉大病院で開催した。

6. 相談支援部会報告

樋口部会長から、資料14に基づき今年度事業計画について、進捗状況等の報告があった。事業項目毎の状況は次のとおりであった。

事業計画

1. 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを作成する。
状況：4拠点病院のホームページで掲載中、他病院へ協力依頼文書を7月に送付し、返信分(15施設)を協議会ホームページへ掲載済
2. 各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築を行う。
状況：がん診療を行っている病院、診療所等へ依頼文書送付し、メーリングリストを作成した。
3. インターネットを利用した患者向けがん情報を発信する(協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する)。
 - ① 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを掲載する。
状況：協議会ホームページへ掲載済
 - ② がん相談に関わる実務者に役立つ情報(がん治療の最新情報、書籍、ウェブサイト等)を発信する。
状況：既存のサイトにリンクを貼ると共に、県内情報をホームページへ掲載予定
 - ③ 沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載を提案する。
状況：がん種毎の担当者を決め情報収集し、協議会ホームページへの掲載を検討する。
 - ④ 各拠点病院がん相談実績を公表する。
状況：拠点病院間の共通相談記録様式は運用開始しており、解析結果は、平成22年3月に協議会ホームページへ掲載予定。
 - ⑤ 患者・家族の要望に応えられるよう意見を募集し、協議会ホームページに掲載する。

- 状況：検討中
4. 各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）を設置する。
- 状況：北部地区医師会病院 第1～3回「北部がん患者ゆんたく会」に協力した。11月から北部地区医師会病院主催で開催予定
- 沖縄県立中部病院 緩和ケア委員会が患者・家族を対象とした勉強会を毎週木曜日開催した。（院内患者対象）
第1回「中部がん患者ゆんたく会」に協力した。
- 那覇市立病院 那覇がん患者ゆんたく会「がん患者サロン」を5月から毎月開催
- 琉大病院 「沖縄がん患者ゆんたく会」を6月から毎月開催
「中部がん患者ゆんたく会」を9月から開催
「北部がん患者ゆんたく会」を8月から開催
※NPOマインドケアおきなわが、那覇市健康増進課を窓口に「ふるさと雇用再生特別交付金事業」を申請し、患者サロン開設等を企画中
5. 拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上と、それ以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対する沖縄県からの支援を求める。
- 状況：平成21年度厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業主催の研修会へ参加した。
研修会名：「がん当事者との協働のあり方」を考えるワークショップ
参加者：樋口美智子（那覇市立病院）
- ：平成19～21年度厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業主催の研修会へ参加した。
研修会名：がんカウンセラー養成講座
参加者：仲村実和子（北部地区医師会病院）
渡嘉敷利恵（県立中部病院）
屋良 尚美（県立中部病院）
樋口美智子（那覇市立病院）
高江洲アヤ子（那覇市立病院）
石郷岡美穂（琉大病院）
西田悠希子（琉大病院）
崎浜 海里（まいんどケアおきなわ）
- ：第3回沖縄県がん診療連携協議会にて、「がん相談支援室の環境整備・人材養成」について提言済
- ：沖縄県がん対策アクションプランにて、「がん相談支援室の環境整備・人材養成」について提言済
6. 定期的に行われる相談員研修会を企画・開催する。
- 状況：平成21年度がん相談支援員実務者研修会を4月から毎月開催している。
那覇市立病院と共催で、10月30日（金）緩和ケア研修会「がん医療におけるコミュニケーションの基礎知識と技術」をテーマに開催
7. ピアサポーターの養成と各拠点病院でのピアサポートを実施する。
- 状況：検討中
8. 各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれに関しての沖縄県からの支援を求める。
- 状況：情報収集を行い、沖縄県への支援を求める。また、樋口部会長が国立がんセンターで開催されるワークショップに参加した。
- ・ 「がん当事者との協働のあり方」を考えるワークショップ
 - ・ ～相談支援センターに求められているものは～
 - ・ 日時：平成21年9月6日（日）
9. 拠点病院共通の相談記録様式を使用し、データ解析を行い公表する。
- 状況：拠点病院間の共通相談記録様式は運用開始しており、解析結果は、平成22年3月に協議会ホームページへ掲載予定

10. セカンドオピニオンの普及および啓蒙を兼ねたアンケート調査を各拠点病院およびがん治療を行っている県内の医療機関の医師・患者を対象に実施する。
状況：7月1日から、セカンドオピニオンを受診した患者を対象に4拠点病院でアンケートを実施した。結果は協議会ホームページへ掲載予定
11. セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けての支援を求める。
状況：ノースウエスト航空が実施しているエアケアチャリティプログラムを参考に患者・家族の負担軽減策について、情報収集を行う。

7. 「地域医療再生計画」について

宮里委員から、資料15に基づき次の事項について説明があった。

○沖縄県地域医療再生計画事業（案）

（1）案1（限度額125億円）

- ①宮古・八重山保健医療圏（限度額100億円）
- ②北部保健医療圏（限度額25億円）

（2）案2（限度額50億円）

- ①宮古・八重山保健医療圏（限度額25億円）
- ②北部保健医療圏（限度額25億円）

8. 「患者必携」について

増田委員から、資料16に基づき、次のとおり患者必携の作成について、説明があった。

○沖縄県版「患者必携」の作成と配布（案）

現在、厚生労働省の研究班と調整中であり、琉大病院では研究費で作成費用が賄われる予定である。（100部作成予定）

9. 今年度協議会および幹事会の開催日程・時間の確認

増田委員から、次のとおり次回の会議開催について確認があった。

○協議会開催日程

第4回協議会開催予定：平成22年2月 5日（金）14：00

○幹事会開催日程

第4回幹事会開催予定：平成22年1月18日（月）15：00